

卒業生からの 応援メッセージ

教員採用試験や大学院、幼稚園・保育所・施設、
一般企業に採用された先輩たちから、
これから就職試験を迎える在校生に向けた
応援メッセージをご紹介します。



小学校教諭

佐賀県



吉住 果杏さん
佐賀県：鳥栖高等学校出身
進路先：佐賀県小学校教諭

私は、大学推薦制度で佐賀県教員採用試験を受験しました。大学推薦制度では、自己PR書と志願理由書を作成します。また、二次試験には小論文があります。これらは、数名の先生方に添削指導をしていただき、自分の小論文の型を作ることが大切です。採用試験対策は、一人よりも友人と一緒に頑張ることで自分のモチベーションに繋がります。私は4月から立派な小学校教諭になれるよう努めますので、皆さんも「絶対に合格する」という強い熱意をもって頑張ってください。

佐賀県



岡村 響さん
佐賀県：佐賀北高等学校出身
進路先：佐賀県小学校教諭

私は大学推薦をいただく形で教員採用試験を受験しました。推薦を受けるにあたっては学内で選考がありました。これまで大学で学んできたこと、また、大学外のボランティア活動などを踏まえて、自分がどのような思いで教員を目指しているのか、佐賀県で教員として子どもたちとともに成長したいという思いを伝えられるように励みました。これは二次試験での面接においても同じように自分の気持ちや思いを素直に、正直に伝えることが必要であるなどと思いました。これから教員採用試験を受ける後輩たちには自分のペースでできることからコツコツとやっていくことで、夢である先生という職業に近づけるということを伝えたいと思います。

福岡県



立花 大さん
福岡県：大牟田北高等学校出身
進路先：福岡県小学校教諭

私が教員採用試験で取り組んだことは、大きく2つあります。1つ目の一次試験では、主に、教職教養と専門教科(小学校全科)の筆記試験がありました。大学の講義で学んだことを踏まえ、法律や教科の目標や内容をノートにまとめました。また、わからない所があれば必ず調べ、一つ一つ確実に潰していきました。2つ目の二次試験では、面接や模擬授業、英会話の試験がありました。二次対策としては、過去の試験で出た問題をひたすら繰り返し練習を行いました。最後に後輩に伝えたいこととしては、自信を持って取り組むということです。自分自身が大学の講義や生活を通して学んできたことは、絶対に生かさせるので自分に自信を持って試験を受けることが大切だと思います。

福岡県



小田 幸那さん
佐賀県：唐津東高等学校出身
進路先：福岡県小学校教諭

私は学習習慣が確立していなかったため、まずは学習をする習慣を身につけることが難しかったです。継続することが一番大切だと思ったので、少しずつ自分のペースで始めて行くことにしました。過去問を何度も解き、出題傾向を掴んだ後、自分の苦手分野を中心に学習を進めました。採用試験に合格することは簡単なことではなく、不安でいっぱいだと思いますが、たまには息抜きをすることも重要です。遊ぶことを忘れず、夢に向かって頑張ってください。大丈夫です！

長崎県



岳下 拓也さん
長崎県：西陵高等学校出身
進路先：長崎県小学校教諭

私は長崎県の教員採用試験を受験し、一次試験は一般教養・教職教養の筆記試験、二次試験は面接という内容でした。受験をするにあたり、とにかく知識を蓄えること、たくさんの経験をするのが大切だと思います。採用試験の前に教育実習などがありますが、それら以外にもボランティアという形でたくさんの人たちと関わることで、自分の中で自信となり、面接では話す内容に芯が出てくると思います。

宮崎県



児玉 康希さん
宮崎県：日向学院高等学校出身
進路先：宮崎県小学校教諭

なるべく早く取り組むと良いでしょう。先輩や先生方の意見にも耳を傾けて、自分なりの対策をしてみてください。日々のスケジュールを組んで行動すると良いです。試験勉強・対策はめんどくさい、したくない時もあるかもしれませんが、合格した後の自分の姿を想像するとやる気が出てくると思います。就活が上手くいった今、振り返ると頑張った良かったなと感じています。明るい未来に向けて、頑張ってください。

大分県



大山 大地さん
大分県：大分豊府高等学校出身
進路先：大分県小学校教諭

私は教員採用試験に向けて、しっかりと時間を決めて勉強するということに取り組みました。もちろん勉強をすることは当たり前なのですが、しっかりと何時から何時まではこの勉強といったように時間を自分の中でしっかりと確立することが大事だと思います。また、夜型から朝型の生活に切り替えることも大事にしました。大学生はつい夜更かしをしていますが、採用試験は朝から午前中にかけてあるため、生活リズムの確立も大切だと思います。

熊本市



松本 鈴さん
熊本県：玉名高等学校出身
進路先：熊本市小学校教諭

一次試験はひたすら過去問を解いて、間違えたところは解説まで書くようにしていました。憲法や法律までしっかり書いて、出てきやすいものの傾向を自分なりに見つけていました。

二次試験の面接は友達と一緒にしてもらって、他の人の受け答えの仕方や自分なりの回答の仕方などを考えながら行いました。小論文は書き方の型を徹底し、どんな題材でも書けるようにしました。採用試験は1人より友達と一緒にした方が学びも多いと思います。

北九州市



加茂 尚輝さん

福岡県：九州国際大学付属高等学校出身
進路先：北九州市小学校教諭

教員採用試験に対して、イメージが浮かんでいない人がいると思います。しかし、自分の納得のいく勉強さえしていれば1次試験は合格出来ると思うので頑張ってください。二次試験の面接はテンプレの文章よりキーワードで覚えておき、自分の言葉で話したほうが変則的な質問にも対応できると思います。模擬授業は教育実習さえ乗り越えれば大丈夫です。担任の先生の話方や姿勢をよく見ておいてください。応援しています。

さいたま市



宮島 安里さん

福岡県：八女高等学校出身
進路先：さいたま市特別支援教育担当教諭

私は筆記試験が無かったため、小論文と面接の対策に取り組みました。面接は、過去問や養成セミナーのような参考書を用いて面接対策ノートを作成し、先生方と毎日面接の練習を行いました。小論文は、指定された試験時間の10~15分前に描き終わることを意識しました。また、自分の経験談やこのテーマが出たらこれを書くという風に決めておくと、書き出しやすいので、ある程度決めて試験に臨みました。この先も実習や試験など試験はたくさんあると思いますが、皆さんなら乗り越えられるので頑張ってください。今しかない学生生活を楽しんでください！

特別支援学校教諭

佐賀県



田中 梨紗さん

熊本県：誠修高等学校出身
進路先：佐賀県特別支援学校教諭

一次試験時は受験する自治体の過去問から出題のされ方や分野の傾向をつかみ、問題集をひたすら解きました。二次試験時は先輩方が残してくださった記録(面接の質問内容や模擬授業のお題等)を基にゼミの先生に指導をして頂きました。一次・二次問わず分からない内容は特別支援教育のスペシャリスト(先生方)にたくさん質問するのが合格までの近道だと思います！また、詰めて勉強をすると心身ともにしんどくなるので、計画的に勉強すると良いと思います。頑張ってください！

佐賀県



小坂 真結さん

長崎県：聖和女子学院高等学校出身
進路先：佐賀県特別支援学校教諭

一次試験は、参考書の読み込みや過去問を何周も行うことが大切です。その中で、例えば、語群から選んで回答する問題であった際には、語群を隠して解くなど、自分で難易度を上げていくと、着実に頭に入ると思います。また、休憩時間や寝る前などにYouTubeで教員採用試験対策の動画を見たり、アプリで友達と勉強時間を共有し切磋琢磨するのもおすすめです。二次試験は、先生方にたくさん教えていただいたり、友達と練習し合えば、大丈夫だと思います。頑張ってください！

小学校・教職大学院

佐賀県



岡田 信さん

佐賀県：致遠館高等学校出身

進路先：佐賀県小学校教諭／佐賀大学教職大学院
進学

私は佐賀県の小学校教員採用試験と佐賀大学教職大学院試験を受験しました。教員採用試験の対策をすることが大学院試験の対策にも繋がったため、教員採用試験に向けて取り組んだことについて述べます。小学校全科は、高校までに学習した知識で賄える部分が多くあるので教職教養の勉強時間を多く確保しました。短い時間でもよいので毎日コツコツ勉強することが知識の定着につながると思います。また、2次試験は実技がメインとなるので先生方の力を借り練習を重ねてください。5月末からは教育実習もあり大変だとは思いますが、やった分だけ試験に反映されますのでそれを肝に銘じこれから頑張ってください。

長崎県



石田 航暉さん

長崎県：長崎明誠高等学校出身

進路先：長崎県小学校教諭／長崎大学教職大学院

4年生でのほとんどの時間を進路実現のための時間として費やしました。試験の対策は3年次で基礎学力固め、4年次では演習問題・面接に力を当てました。1日休むと勉強の時間が少なくなるだけでなく、なにより試験へのやる気が削がれてしまいます。「絶対に受かるぞ!」と覚悟を決めたのであれば、その日から1日たりとも休むことなく、学習のルーティンを確立することをお勧めします。みなさまのご活躍を心より願っております。

大分県



光永 翔太郎さん

大分県：国東高等学校出身

進路先：大分県小学校教諭／大分大学教職大学院

教採を受け、大分の教育方針と佐賀の教育方針で全然違うことがわかりました。地元大分県の教育についてもっと多くの事を学ぶため院試を受けることに決めました。大分大学の教職大学院は教採に受かったら筆記試験免除になるので、院に進むことを考えている人も、院試の前に教採にもしっかりと受かるよう勉強をしてください。

勉強ももちろん大事ですが、大学生活も存分に楽しんで、全力で遊んで、全力で勉強してください。応援しています。

幼稚園・保育所・施設関係



本告 美波さん

佐賀県：神埼清明高等学校出身

進路先：佐賀県神崎市職員（保育士）

公務員試験の参考書をもとに勉強しました。自分の苦手とする分野をはっきりさせて、そこを中心に勉強に取り組むようにしました。解いたら解いた分だけ理解できると思います。面接試験は先生方をお願いをし、どんな質問が来ても答えられるようにしておくといいと思います。勉強は大変だと思いますが頑張ってください。応援しています。



掛園 真生さん

佐賀県：白石高等学校出身

進路先：佐賀県 こども園

過去に同じ園を受けた先輩の就職活動報告書を参考にしながら面接練習を行いました。また、面接試験を終えた友人に話を聞き、アドバイスをもらっていました。同時に、履歴書の添削をゼミの先生をお願いしたり、疑問に思ったことを学生支援課の方に聞いたりしていました。とても親身になって話を聞いてくださいますよ。後輩の皆さん、授業や実習もあり大変だと思いますが、自分のペースでゆっくり頑張ってください。皆さんの夢が叶うことを心から願っています。



栗山 理名さん

佐賀県：佐賀清和高等学校出身

進路先：佐賀県 保育園

私は保育園への就職活動で、見学と短期アルバイトの2つに取り組みました。ホームページや資料の情報だけでは雰囲気や教育方針、細かい仕事内容など分からないことが多いので、実際に見学やアルバイトをすることで、その園が自分に合っているかを考えることができます。また、アルバイトでは実習とは違う立場で仕事ができ良い経験になります。

後輩のみなさん。実習で行ったところだけで選ぶよりも、自ら園に足を運んでみてよく考えることが大切です。



宮崎 史奈さん

佐賀県：武雄高等学校出身

進路先：佐賀県 乳児院

私は、乳児院みどり園から内定をいただいています。採用試験は面接のみであったため、前年度までの面接内容の報告書を参考にし、準備を行いました。また、事前に自主実習をすることで、施設の雰囲気を感じ、自らの目指す保育士像を明確にすることができました。

乳児院で、保育士としてどのように子どもと関わり、どのように働きたいのかを明確にすることが求められていると思います。自分がどのような保育士になりたいのかを考えることから始めると良いと思います！

一般企業



古川 陸さん

佐賀県：武雄高等学校出身

進路先：企業（東京都）

私が就職活動を始めた頃は、自分が何をしたいのかわからず、なんとなく就職活動をしていました。もしかしたら、私と同じように自分の方向性を見つけられず、焦りを感じている学生さんがいるかもしれません。そんな方には、とにかく、様々な企業・業界を見る、様々な方の話を聞く、そして様々なことを経験するという3つのことを大切にしてください。

視野を広げて就職活動をすることで、行きたいと思える企業を見つけることができると思います。様々なことにチャレンジすることは、大学生の特権だと思うので気負わず、楽しく就職活動頑張ってください。応援しています。